

## 清水町総合計画審議会 会議録（要約）

- ・日 時 令和6年2月26日 18時～19時10分
- ・場 所 清水町役場庁舎2階 庁議室

### 【出席者】

- ・委員：五十嵐 卓、長谷川 弘、下坂 吉彦、矢萩 利浩、下村 武史、佐藤 大介、林緑  
（※欠席者：氷見 隆雄、安田 幸子、樋口 貴弘、大東 孔美、寺内 麻紀）
- ・事務局：企画課長 鈴木 聡、企画課長補佐兼企画統計係長 吉田 寛臣  
企画統計係主事 木村 翔
- ・傍聴者 なし

### 1 開会

### 2 町長あいさつ（副町長）

### 3 新任委員紹介

### 4 会長あいさつ

### 5 議 題

#### （1）令和6年度 清水町当初予算概要（案）の説明について

【吉田企画課長補佐より資料説明】

##### ①（長谷川委員）

砂糖消費拡大奨励事業について、商工会主催のイベントで砂糖を景品として出しているが、この場合の経費も助成していただけるのか。

（企画課長）

砂糖そのものに係る経費の助成は考えていません。消費・PR効果に繋がるよう、イベントなどの際、砂糖を使用した食品（菓子類）と消費拡大パンフレットの配布を行います。

##### ②（長谷川委員）

省エネ住宅設備導入奨励事業について、商工会で小規模事業者向けの道の補助金がありますが、自己負担分に町の補助金を充てることができますか。

（企画課長）

他の補助事業との併用も、自己負担分についても補助対象となりません。「北海道の住まいのゼロカーボン化事業」に合わせて実施します。

③ (林委員)

学童クラブの改修工事はいつ頃から始まりますか。  
また、幼稚園跡を学童にする案はなかったのでしょうか。

(企画課長)

学童クラブの改修工事は、夏休みを予定しています。幼稚園を学童にするには、トイレが児童向けではないことや、ボイラーが老朽化していることから、小学校の空き教室の方が快適に利用できると判断しました。

④ (林委員)

地域活性化交流施設に対し民間へ補助を出すよりも、新体育館に併設した方が良いと思いますが。

(企画課長)

現状の町の方針として、新たな宿泊施設建設は考えておりません。町が施設を持つことで、維持管理や運営に多額の経費がかかることもあり、民間事業者の中で運営していただけるのであれば、支援していきたいという考えである。今回は、御影地区の遊休施設を活用して、合宿やスポーツ留学の受入れを行いたい旨の事業者からの要望があり、支援を行うものです。

⑤ (林委員)

商店街ビジョンマップ検討作成業務は、町外の事業者へ委託するのでしょうか。

(企画課長)

入札にて委託事業者を選定予定です。地域全体で、今後の商店街の在り方について検討し、それを具体化したビジョンを共有することにより、商店街のにぎわい創出に関する施策に繋げていく事業となります。

(林委員)

「教育の四季 子どもフォーラム」で、清水町の未来についての提案を行っており、いい提案がたくさんあります。清水町の将来を担う子ども達の意見をも取り込んだ方が良いと思います。

(企画課長)

子どもたちのアイデアを取り入れることは、とても有効的だと思います。今回は商店街に絞ったビジョンマップ作製となりますが、幅広い年代の意見を取り入れることが必要と考えています。

⑥ (林委員)

プレミアム商品券の電子商品券分について、購入上限が設けられている理由を教えてください。

(長谷川委員)

電子商品券に上乘せしている5%分はハーモニー会で負担しているため、予算の範囲内で購入上限を決定しています。

⑦ (下村委員)

地域活性化交流施設については、需要を把握し、事業として成り立つ見込みがあるという認識でよろしいでしょうか。

(企画課長)

全国の小・中学生、また女子ホッケー選手の需要が高いと聞いています。

(佐藤委員)

合宿所を運営していただける事業者があるのは助かりますが、合宿所は定住には繋がらないため、空いている教員住宅などを改修して活用することはできないか。

(企画課長)

清水高校生の確保の観点からも、町外から来てもらう体制づくりが必要であり、移住定住を推進する上で、空いている教員住宅などの活用も検討しています。

⑧ (下坂委員)

友好の森事業について、北区の児童が来町し交流することになっていますが、これまで交流を進めてきた深谷市八基小学校の児童は来られないのか。

(企画課長)

当然のことながら、交流が深まっている八基小学校の児童のみなさんにも清水町に来ていただきたい思いはあります。今回の北区児童の来町につきましては、町が連携協定を結んだこともあり、早々に環境教育の一環で実現したものです。

⑨ (矢萩委員)

先日新聞に十勝の人口動態に関する記事が掲載されており、清水町は人口減少に対し健闘していると思われませんが、この要因はなんだと捉えているか。

(企画課長)

現状の中で、本町が力を入れている子育て支援によるものが大きな要因だと思われま。また、スポーツ留学、外国人の転入増も一つの要因と考えております。

⑩ (矢萩委員)

担い手不足や人手不足の観点から外国人技能実習生の活性化は考えていますか。

(企画課長)

外国人労働者頼みという農家もあると聞いています。実態を把握し、先を見据えて検討していく必要があると考えています。

⑪ (矢萩委員)

食と観光においてインバウンドの流入は経済活性化に有効かと思うが、どのように考えているか。

(長谷川委員)

十勝観光連盟では、令和6年度インバウンド観光について、重点を置いています。

## (2) 清水町人口ビジョン・総合戦略の改訂について

### 【吉田企画課長補佐より資料説明】

意見なし。

## 6 その他

特になし。

## 7 閉会